

## 市議会 12月定例会 行政報告（11月30日）

市議会 12月定例会初日に当たり行政報告いたします。

### 豊浦福祉センター「ほうづきの里」の廃止について

はじめに、豊浦福祉センター「ほうづきの里」の廃止について御報告いたします。

豊浦福祉センター「ほうづきの里」は、平成3年度に豊浦デイサービスセンターと一体型の老人福祉施設として整備され、温泉を活用した入浴施設を備えた豊浦地域の福祉の向上に重要な役割を果たしてきたところであります。

しかしながら、近年、高齢者のニーズが多様化してきており、かつてのような高齢者のレクリエーションの場としての需要は少なくなり、利用者は年々減少してきております。また、建設から30年が経ちますことから、老朽化に加え、温泉成分による傷みが著しく、今後、大規模な改修が必要となること、併せて、人口減少、財政状況などを踏まえ、計画的な施設管理の取組を進めることを目的に策定した新発田市公共施設等総合管理計画では、「事業を廃止し建物を解体する施設」と位置づけておりますことなどを勘案し、指定管理期間が満了となる今年度末をもって廃止したいものであります。

これまでの間の対応といたしましては、去る9月8日、豊浦地区区長会の皆様に施設の現状を御説明し、廃止についてお伝えいたしましたが、出席された皆様からは、特に御意見等はなく、理解が得られたものと考えております。

今後につきましては、施設利用者の大半が入浴施設利用者でありますことから、

廃止の周知については、施設内での掲示をはじめ、広報しばた、市ホームページへの掲載などにより行い、また、関係条例の廃止に関する一般議案につきましては、2月定例会であらためて上程させていただきたいと考えております。

なお、同建物に設置されている豊浦デイサービスセンターについては、ボイラーや配管等の老朽化が進んでおり、今後、多額の修繕費用が見込まれること、また、民間事業者によるデイサービスセンターの新規参入が予定されていることなどから廃止することとし、廃止の時期につきましては、現在、利用されている方への御説明をした後、他のデイサービスセンターへの移行調整など、丁寧に対応していく必要がありますことから、令和5年度末を目途として廃止したいと考えております。

### **紫雲寺老人憩いの家「眺海荘」の廃止について**

次に、紫雲寺老人憩いの家「眺海荘」の廃止について御報告いたします。

紫雲寺老人憩いの家「眺海荘」は、昭和49年度に高齢者の健康増進、教養の向上及びレクリエーションの便宜を図り、高齢者福祉に寄与することを目的に建設され、昭和62年には、敷地内に認知症デイサービスセンター「ことぶき園」を併設し、紫雲寺地域において、高齢者福祉の拠点として重要な役割を果たしてきました。

しかしながら、老朽化に加え、立地が海の近くであり、塩害による傷みが著しくなったことから、平成25年には入浴施設を廃止しており、浴室を共用利用しておりましたデイサービスセンターについても、同時に廃止いたしました。

ほうづきの里と同様に、新発田市公共施設等総合管理計画では、「事業を廃止し建物を解体する施設」と位置づけていること、また、施設の老朽化や利用者が年々

減少していることなどを勘案し、指定管理期間が満了する今年度末をもって廃止したいものであります。

これまでの間の対応といたしましては、紫雲寺地区自治会連合会、藤塚浜町内会の皆様にそれぞれ施設の現状を説明し、廃止についてお伝えしており、出席された一部の方からは、「このまま存続していただきたい」との御意見もありましたが、他の出席者の皆様からは、おおむね理解が得られたものと考えております。

今後につきましては、広報しばた、市ホームページへの掲載などにより周知を図り、また、関係条例の廃止に関する一般議案については、2月定例会であらためて上程させていただきたいと考えております。

以上、行政報告といたします。